エコアクション２１

環境経営レポート

２０２１年度版

（令和３年４月～令和４年３月）

発行日　令和４年１２月２０日

総合ビル・メンテム株式会社

目次

１．組織の概要

２．認証・登録の対象組織及び活動

３．環境経営方針

４．環境経営目標と実績

５．環境経営計画

６．環境経営計画の取組み結果とその評価

７．環境経営計画の次年度の取組

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無

９．代表者による全体評価と見直しの結果

取組の対象組織・活動の明確化

Ⅰ. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

総合ビル・メンテム株式会社
代表取締役　元木　文昭

2. 所在地

徳島県徳島市大道2丁目28番地

3. 環境保全関係の責任者及び担当者

【環境管理責任者】萩原　栄二
【　事　務　局　】萩原　栄二　　菊川　真希

4. 連絡先

【TEL】　088-625-7350　　【FAX】　088-626-1808
【Email】　e.hagiwara@sbm-inc.co.jp（萩原）
　　m.kikukawa@sbm-inc.co.jp（菊川）

5. 事業内容

(1)ビルメンテナンス業
　①清掃管理業務
　②設備管理業務
　③環境衛生管理業務
　　・建築物環境衛生総合管理業登録
　　・建築物ねずみ昆虫等防除業登録
　　・浄化槽保守点検業務登録
　　・建築物飲料水貯水槽清掃業登録
　　・医療関連サービスマーク認定
(2)施設警備業
　　・警備業認定証
(3)メンテナンスに関するコンサルタント業務
(4)労働者派遣業
　　・一般労働者派遣事業許可
(5)ホテル、マンション管理業
　　・マンション管理業登録

6. 事業規模

(1)総社員数　　308名（正規社員178名、パート/アルバイト等130名）
(2)2021年度（令和3年度）の全体の売上額　　123,248　万円
(3)主な契約施設数　58ヶ所

7. 事業年度

＊　4月～翌3月

Ⅱ. 認証・登録の対象組織・活動

1. 登録組織名

総合ビル・メンテム株式会社
代表取締役社長　元木　文昭

2. 事業活動

(1)ビルメンテナンス業
①清掃業務
②設備管理業務
③環境衛生管理業務
(2)施設警備業
(3)メンテナンスに関するコンサルタント業務
(4)労働者派遣業
(5)ホテル、マンション管理業

3. 環境活動実施体制

(1)経営者　:元木文昭(社長)
(2)環境管理責任者　:萩原栄二(統括部長)
(3)事務局担当者　:住江啓治(取締役)　菊川真希(部長)　林忠顕(電気主任技術者)
(4)本社業務担当者　:住江啓治(取締役)　菊川真希(部長)　赤岩幸子(部長)
(5)清掃業務担当者　:岩木章(部長)　前田靖行(課長)
(6)設備業務担当者　:林忠顕(副部長)　小寺寛之(課長)
(7)警備業務担当者　:岡崎良治(部長)　安喜秀俊(課長代理)

○関連組織

・安全衛生委員会
・防災委員会(BCP委員会)

4. 対象人数

(1)本社業務　:　正規社員　13名　パート　0名
(2)清掃業務　:　正規社員　98名　パート　100名
(日赤病院の看護助手以外業務含む)
(3)設備業務　:　正規社員　45名　パート　1名
(4)警備業務　:　正規社員　48名　パート　3名　総　合　計:308名
(環境衛生管理業務、各種メンテナンスのコンサルタント業務を含む)

※尚、日赤病院の看護助手(パート、アルバイト等含む)57名の業務は、客先業務に組み込まれており、対象から外しています。

総合ビルメンテム株式会社
環境経営方針

○環 境 活 動 理 念

地球環境問題が当社の業務においても重要課題の一つであることを十分認識し、日常の業務活動を通じて、環境に調和した付加価値のある業務展開を積極的に行い、広く社会に貢献して参りたいと考えます。

当社は「建築物の環境衛生及び安全の分野において、技術力に裏付けられた高水準のサービスを、“信頼と誠実”をモットーに、提供すること」を企業理念としています。

環境負荷の軽減活動は、当社の重要な経営目標のひとつであります。

この環境負荷軽減への取組みを強化するツールとして、エコアクション21は、生産施設を持たず、多様な客先で業務を実施する当社にとって、現場活動の一環として展開できる環境マネジメントシステムであります。

エコアクション21により、省エネ、省資源、廃棄物の削減等の環境活動を推進して参ります。

○環 境 活 動 方 針

1 当社の環境負荷として考えられる「二酸化炭素排出量の削減」「廃棄物排出量の削減」に取り組みます。

2 環境経営目標を定め、これを実行し見直すことにより継続的改善を図ります。

3 環境に配慮した行動を社員一人ひとりのレベルまで徹底することに努めます。
環境教育等を通じて、全社員の環境に対する意識の向上を図ります。
また、グリーン購入の普及に努めます。

4 積極的に環境活動を展開し、お客様のベストパートナーとなることに努めます。
また、お客様施設の省エネルギー等の提案も行ってまいります。

5 環境関連の法規、協定等を遵守すると共に、社内の規定類を整備し、環境保全に努めます。

6 当社の社会的責任の一環として地域貢献活動の推進につとめます。また、当社１階部分を無料の貸会場「フリーゾーン」として地域社会の文化発展のために開放するとともに、２階部分にＡＥＤを設置し、献血等へも積極的に参加してまいります。

この環境経営方針を文書化し、実行し、維持し、全社員に周知し、外部に公表致します。

改定日　２０２０年６月１日

総合ビル･メンテム株式会社

代表取締役社長　元 木　文 昭

4. 環境経営目標と実績

4．1 環境負荷の分析と課題

当社は総合ビルメンテナンス業を主たる営業品目としており、客先施設での業務が中心となります。従って、定量的に当社業務に直接関係する環境負荷を把握できるのは本社ビルだけであります。

各現場においては、客先施設での業務展開となるため、データを数値として捉えることには制限が出てまいりますが、控室等において可能な限り数値的把握に努めました。

総排水量は水道使用量と同じとしました。

有害物・危険物は使用または保管していません。（客先施設を除く）

また、環境上の緊急事態は、火災及び地震・台風が考えられます。騒音・臭気・振動等の周辺への影響は、ほとんど発生しません。火災/地震/台風への対応については、対応計画・管理体制及び訓練の充実を今後進めていき、BCP（事業継続計画）活動において検討充実していきたいと考えています。

4．2 環境経営目標

環境負荷低減への取組みを【本社ビル】【清掃部門】【警備部門】【設備部門】において進めています。

○【本社ビル】

「二酸化炭素量」「廃棄物排出量」「総排水量」を、2007年度を基準にして毎年1％削減することを目標としています。

「グリーン購入品目数」を2010年度より環境目標に加えています。

○【清掃部門】

「休憩室よりの廃棄物」及び「業務資材系容器廃棄物排出量」を、2007年度を基準に清掃対象契約金額の千円当たりのグラム数で比較し、毎年1％削減することを目標としています。

○【警備部門】

「休憩室よりの廃棄物排出量」を、2011年度を基準に、毎年1％削減することを目標としています。

○【設備部門】

2010年度より、「省エネ提案項目」を毎年2件以上増やしていくことを目標としています。また、「休憩室よりの廃棄物排出量」を、2011年度を基準に、毎年1％削減することを目標としています。

EA⑤⑫本社

環境目標と実績　（本社）

作　成　日　平成26年4月1日
作成責任者　萩　原　栄　二
記　録　日　令和3年4月17日

承　認

項　目 ＼ 年　度		2007年度実績 (H19/4～H20/3)	2019年度 (H31/4～R2/3)		2020年度 (R2/4～R3/3)		2021年度 (R3/4～R4/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
延床面積[㎡]		918						
二酸化炭素排出量	削減率[%]	―――	12%減		13%減		14%減	
	総量[kg-CO2/年]	57,404	50,515	54,058	49,941	52,788	49,367	49,205
	原単位[kg-CO2/㎡・年]	62.53	55.03	58.89	54.40	57.50	53.78	53.60
廃棄物排出量	削減率[%]	―――	12%減		13%減		14%減	
	総量[t/年]	1.957	1.722	0.827	1.703	0.853	1.683	0.903
	原単位[kg/㎡・年]	2.13	1.87	0.90	1.85	0.93	1.83	0.98
排水量	削減率[%]	―――	12%減		13%減		14%減	
	総量[㎥/年]	380	334	197.5	330.6	176.5	326.8	176.5
	原単位[㎥/㎡・年]	0.414	0.364	0.215	0.360	0.192	0.356	0.192
グリーン購入品目数	目標[2件/年]の追加		2	2	2	2	2	2
	累計購入品目数		20	32	22	34	24	36

項　目 ＼ 年　度		2007年度実績 (H19/4～H20/3)	2022年度 (R4/4～R5/3)		2023年度 (R5/4～R6/3)		2024年度 (R6/4～R7/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
延床面積[㎡]		918						
二酸化炭素排出量	削減率[%]	―――	15%減		16%減		17%減	
	総量[kg-CO2/年]	57,404	48,793		48,219		47,645	
	原単位[kg-CO2/㎡・年]	62.53	53.15		52.53		51.90	
廃棄物排出量	削減率[%]	―――	15%減		16%減		17%減	
	総量[t/年]	1.957	1.663		1.644		1.624	
	原単位[kg/㎡・年]	2.13	1.81		1.79		1.77	
排水量	削減率[%]	―――	15%減		16%減		17%減	
	総量[㎥/年]	380	323.0		319.2		315.4	
	原単位[㎥/㎡・年]	0.414	0.352		0.348		0.344	
グリーン購入品目数	目標[2件/年]の追加		2		2		2	
	累計購入品目数		26		24		26	

※四国電力　調整後CO2排出係数　0.528 〔kg-CO2/kg〕

EA⑤⑫清掃

環境目標と実績　（清掃部門）

作　成　日　平成26年4月1日
作成責任者　萩　原　栄　二
記　録　日　令和3年4月17日

承　認

EA⑤⑫清掃

年　度 / 項　目		2007年度実績 (H19/4～H20/3)	2017年度 (H29/4～H30/3)		2018年度 (H30/4～H31/3)		2019年度 (H31/4～R2/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
清掃対象現場契約金額［千円］		121,735	151,524		165,357		162,231	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	10%減		11%減		12%減	
	総量[t/年]	1.543	――	0.777	――	0.789	――	0.798
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	12.675	11.408	5.128	11.281	4.771	11.41	4.919
業務資材系容器廃棄物排出量	削減率[%]	―――	10%減		11%減		12%減	
	総量[t/年]	0.173	――	0.157	――	0.157	――	0.157
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	1.421	1.279	1.036	1.265	0.949	1.251	0.968

年　度 / 項　目		2007年実績 (H19/4～H20/3)	2020年度 (R2/4～R3/3)		2021年度 (R3/4～R4/3)		2023年度 (R4/4～R5/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
清掃対象現場契約金額［千円］		121,735	160,155		160,836			
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	13%減		14%減		15%減	
	総量[t/年]	1.543	---	0.785	--	0.658	--	
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	12.675	11.027	4.902	10.901	4.091	10.774	
業務資材系容器廃棄物排出量	削減率[%]	―――	13%減		14%減		15%減	
	総量[t/年]	0.173	---	0.153	--	0.174	--	
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	1.421	1.236	0.955	1.222	1.082	1.208	

年　度 / 項　目		2007年実績 (H19/4～H20/3)	2024年度 (R5/4～R6/3)		2025年度 (R6/4～R7/3)		2026年度 (R7/4～R8/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
清掃対象現場契約金額［千円］		121,735						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	16%減		17%減		18%減	
	総量[t/年]	1.543	---		--		--	
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	12.675	10.647		10.520		10.393	
業務資材系容器廃棄物排出量	削減率[%]	―――	16%減		17%減		18%減	
	総量[t/年]	0.173	---		--		--	
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	1.421	1.193		1.179		1.165	

EA⑤⑫設備

環境目標と実績　（設備部門）

作　成　日　平成26年4月1日
作成責任者　萩　原　栄　二
記　録　日　令和3年4月17日

承　認

【省エネ提案項目他】

年　度 / 項　目		2009年度実績 (H21/4～H22/3)	2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)		2018年度 (H30/4～H31/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
省エネ提案項目	目標〔2件/年〕	現場への指導中	2	2	2	2	2	2
	累計提案数	0	14	35	16	37	18	39

年　度 / 項　目		2009年度実績 (H21/4～H22/3)	2019年度 (H31/4～R2/3)		2020年度 (R2/4～R3/3)		2021年度 (R3/4～R4/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
省エネ提案項目	目標〔2件/年〕	現場への指導中	2	2	2	2	2	2
	累計提案数	0	20	41	22	43	24	45

年　度 / 項　目		2009年度実績 (H21/4～H22/3)	2022年度 (R4/4～R5/3)		2023年度 (R5/4～R6/3)		2024年度 (R6/4～R7/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
省エネ提案項目	目標〔2件/年〕	現場への指導中	2	2	2	2	2	
	累計提案数	0	20		22		24	

年　度 / 項　目		2009年度実績 (H21/4～H22/3)	2025年度 (R7/4～R8/3)		2026年度 (R8/4～R9/3)		2027年度 (R9/4～R10/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
省エネ提案項目	目標〔2件/年〕	現場への指導中	2	2	2	2	2	
	累計提案数	0	20		22		24	

【控室よりの廃棄物排出量】

年　度 / 項　目		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)		2018年度 (H30/4～H31/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		52,816	62,939		62,939		64,719	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	5%減		6%減		7%減	
	総量[t/年]	0.229	――	0.167	――	0.098	――	0.098
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	4.336	4.119	2.653	4.076	1.557	4.032	1.514

年　度 / 項　目		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2019年度 (H31/4～R2/3)		2020年度 (R2/4～R3/3)		2021年度 (R3/4～R4/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		52,816	63,152		62,883		58,423	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	8%減		9%減		10%減	
	総量[t/年]	0.229	――	0.095	――	0.095	――	0.042
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	4.336	3.989	1.504	3.946	1.511	3.902	0.719

年　度 / 項　目		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2022年度 (R4/4～R5/3)		2023年度 (R5/4～R6/3)		2024年度 (R6/4～R7/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		52,816						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	11%減		12%減		13%減	
	総量[t/年]	0.229	――		――		――	
	原単位[ｸﾞﾗﾑ/千円･年]	4.336	3.989		3.946		3.902	

環境目標と実績　（警備部門：空港）

作　成　日　平成26年4月1日
作成責任者　萩　原　栄　二
記　録　日　令和2年4月17日

承　認

項　目 ＼ 年　度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)		2018年度 (H30/4～H31/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		21,367	22,165		22,165		23,055	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率［%］	―――	5%減		6%減		7%減	
	総量［t/年］	0.086	――	0.062	――	0.049	――	0.032
	原単位［㌘/千円・年］	4.025	3.824	2.797	3.784	2.211	3.743	1.388

項　目 ＼ 年　度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2019年度 (H31/4～R2/3)		2020年度 (R2/4～R3/3)		2021年度 (R3/4～R4/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		21,367	23,152		21,511		21,452	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率［%］	―――	8%減		9%減		10%減	
	総量［t/年］	0.086	――	0.031	――	0.030	――	0.073
	原単位［㌘/千円・年］	4.025	3.703	1.356	3.663	1.395	3.623	3.394

項　目 ＼ 年　度		2011年度実績 (H23/4～H24/3)	2022年度 (R4/4～R5/3)		2023年度 (R5/4～R6/3)		2024年度 (R5/4～R6/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		21,367						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率［%］	―――	11%減		12%減		13%減	
	総量［t/年］	0.086	――		――		――	
	原単位［㌘/千円・年］	4.025	3.582		3.542		3.502	

承　認

環境目標と実績　（警備部門：日赤）

作　成　日　平成26年4月1日
作成責任者　萩　原　栄　二
記　録　日　令和2年4月17日

項目 ＼ 年度		2012年度実績 (H24/4～H25/3)	2016年度 (H28/4～H29/3)		2017年度 (H29/4～H30/3)		2018年度 (H30/4～H31/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		22,246	41,760		41,760		43,066	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	4%減		5%減		6%減	
	総量[t/年]	0.403	――	0.292	――	0.275	――	0.286
	原単位[㌘/千円・年]	18.116	17.391	6.992	17.210	6.585	17.029	6.641

項目 ＼ 年度		2012年度実績 (H24/4～H25/3)	2019年度 (H31/4～R2/3)		2020年度 (R2/4～R3/3)		2021年度 (R3/4～R4/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		22,246	39,876		39,876		39,876	
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	7%減		8%減		9%減	
	総量[t/年]	0.403	――	0.268	――	0.265	――	0.292
	原単位[㌘/千円・年]	18.116	16.848	6.721	16.666	6.646	16.486	7.323

項目 ＼ 年度		2012年度実績 (H24/4～H25/3)	2022年度 (R4/4～R5/3)		2023年度 (R5/4～R6/3)		2024年度 (R5/4～R6/3)	
		中期目標基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績
設備対象現場契約金額［千円］		22,246						
休憩室よりの廃棄物排出量	削減率[%]	―――	10%減		11%減		12%減	
	総量[t/年]	0.403	――		――		――	
	原単位[㌘/千円・年]	18.116	16.304		16.123		15.942	

5.　環境活動計画

2021年度環境活動実施計画（本社）

（達成状況・評価チェック:6月、9月、12月、3月）

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	達成状況/是正策（本社責任者） 6月	9月	12月	3月	評価/指示（環境管理責任者） ※評価は9月と3月に実施
【環境項目】	1. 二酸化炭素排出量の削減 ①電気使用量の削減 ②輸送に伴う環境負荷の低減	総務部長 担当者		○	◎	◎	○	9月：今夏の早い時期からの猛暑だったが、節電につとめ前期より削減した。
	2. 廃棄物排出量の削減 ③廃棄物の排出抑制			○	○	○	○	廃棄物は前年比で増加している。
	3. 総排出量の削減 ④節水			○	○	○	○	3月：全体的に増加しているので減少努力をお願いします。
	4. グリーン購入			◎	◎	◎	◎	
【環境活動計画】 ①電気使用量の削減	・空調の適温化	総務部長 担当者		○	○	○	○	9月：今夏の猛暑においても扇風機の併用の維持に努めていました。
	・空調区域の適温化			◎	○	◎	○	
	・照明の適正化、スイッチの適正管理			◎	◎	◎	◎	
	・サーキュレーターを3台設置			◎	◎	◎	◎	
	・その他電力の適正使用			○	○	○	○	3月：継続努力のこと
	・クールビズ、ウォームビズの実施			◎	◎	◎	◎	
②輸送に伴う環境負荷の低減	・アイドリングストップ/適正空気圧等エコ運転の配慮の指導	総務部長 担当者		◎	◎	◎	◎	9月：再度、効率運転の配慮！ 3月：ガソリン使用量は通年において若干減少しました。今後も継続努力のこと。
	・公共交通機関の利用促進			○	○	◎	◎	
	・社有車個々の走行記録及び給油等の記録			◎	◎	◎	◎	
	・社有車購入の際、排ガスレベル、燃費等の考慮			◎	◎	◎	◎	
③廃棄物の排出抑制	・必要書類以外の印刷禁止	総務部長 担当者		○	○	◎	◎	9月：効率的印刷 再度の注意をお願いします。 3月：継続努力のこと 若干廃棄物が増えた
	・可能な限り両面縮小印刷の実施			○	○	○	○	
	・ペーパータオルの廃止			◎	◎	◎	◎	
	・再生紙の使用			◎	◎	◎	◎	
	・グリーン商品の購入に努める			◎	◎	◎	◎	
	・分別回収のボックスの適正配置、ゴミ分別の徹底			◎	◎	◎	◎	
④節水	・漏水の点検	総務部長 担当者		◎	◎	◎	◎	9月：継続努力のこと 3月：継続努力のこと
⑤内部環境監査	・内部環境監査員による内部監査を受ける	内部環境監査員					◎	周知及び教育指導の徹底

注：達成状況　◎　充分できている　○　ほぼできている　△　未だ不十分である　×　できていない

※クールビズ期間は前後延長しました（5月～10月）

2021年度環境活動実施計画（清掃部門）

（達成状況・評価チェック:6月、9月、12月、3月）

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	達成状況/是正策（清掃部門責任者） 6月	9月	12月	3月	評価/指示（環境管理責任者） ※評価は9月と3月に実施
【環境項目】	1. 廃棄物排出量の削減 ①廃棄物の排出削減	清掃部門 責任者 所長	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと
【環境活動計画】 ①廃棄物の排出抑制	・休憩室よりの廃棄物排出量の削減 ＊必要書類以外の印刷禁止 ＊ゴミ分別の徹底 ・業務資材系容器廃棄物排出量の削減	清掃部門 責任者 所長	→ → → → → →	◎ ○	◎ ○	◎ ○	◎ ○	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと
②電気使用量の削減	・空調の適正化 ・人がいない場所の空調OFF照明OFFの徹底 ・長時間離席時及び外出時のパソコンOFFの徹底 ・休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底 ・帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく	清掃部門 責任者 所長	→ → → → → → → → → → → → → → →	◎ ○ ○ ◎ ◎	◎ ○ ○ ◎ ◎	◎ ○ ○ ◎ ◎	◎ ○ ○ ◎ ◎	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと テレビ・ポットの電源OFF徹底を！
③輸送に伴う環境負荷の低減	・アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導 ・自転車や徒歩通勤の勧め	清掃部門 責任者 所長	→ → → → → →	○ ◎	○ ◎	○ ◎	○ ◎	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと アイドリングストップ！
④節水	・水道使用方法の指導 ＊必要以外に水を使用しないことの徹底 ＊各種洗濯物の使用量の把握 ＊たらいや洗濯機の使用の推進 ・トイレの水量を減らす	清掃部門 責任者 所長	→ → → → → →	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと トイレ使用水量は機能維持のうえでの節水
⑤内部環境監査	・内部環境監査員による内部監査を受ける	内部環境監査員	→				◎	周知及び教育指導の徹底
⑤洗剤等の化学物質使用量の管理	・安全データシートの整備 ・化学物質使用量の把握と使用量の適正化	清掃部門 所長	→ → → → → →	◎ ○	◎ ○	◎ ○	◎ ○	

注：達成状況　◎　充分できている　○　ほぼできている　△　未だ不十分である　×　できていない

2021年度環境活動実施計画（警備部門）

（達成状況・評価チェック:6月、9月、12月、3月）

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	達成状況/是正策（清掃部門責任者） 6月	9月	12月	3月	評価/指示（環境管理責任者） ※評価は9月と3月に実施
【環境項目】	1. 廃棄物排出量の削減 ①廃棄物の排出削減 （データの採取）	警備部門 責任者 所長	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：この状態を継続してください 3月：継続努力のこと
【環境活動計画】 ①廃棄物の排出抑制	・休憩室よりの廃棄物排出量の削減 ＊ゴミ分別の徹底 ＊ペットボトルの使用を控える水筒持参の推進、エコキャップ運動の推進 ＊マイコップの奨励 ＊マイバック（買い物）の利用	警備部門 責任者 所長	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：今後も活動を続けてください 3月：継続努力のこと
②電気使用量の削減	・空調の適正化 ・人がいない場所の空調OFF照明OFFの徹底 ・休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底 ・冷蔵庫の温度調整 ・勤務者不在時コンセントを抜いておく	警備部門 責任者 所長	→ → → → → → → → → → → → → → →	○ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎ ◎	9月：この状態を継続してください 3月：継続努力のこと
③輸送に伴う環境負荷の低減	・アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導 ・自転車や徒歩通勤の勧め	警備部門 責任者 所長	→ → → → → →	◎ ○	◎ ○	◎ ○	◎ ○	9月：今後も指導を続けてください 3月：継続努力のこと
④節水	・朝夕の洗顔、歯磨き、手洗い時の節水 ・水道使用方法の指導等	警備部門 責任者 所長	→ → → → → →	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	9月：この状態を継続してください 3月：継続努力のこと
⑤内部環境監査	・内部環境監査員による内部監査を受ける	内部環境監査員	→				◎	周知及び教育指導の徹底

注：達成状況　◎　充分できている　○　ほぼできている　△　未だ不十分である　×　できていない

2021年度環境活動実施計画（設備部門）

（達成状況・評価チェック:6月、9月、12月、3月）

重点テーマ	具体的項目	責任者	スケジュール 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	達成状況/是正策（清掃部門責任者） 6月	9月	12月	3月	評価/指示（環境管理責任者） ※評価は9月と3月に実施
【環境項目】 ①省エネ提案活動の推進	1. 省エネ提案項目の推進	設備部門 責任者 所長	→ → →	○	○	○	○	9月：省エネ提案、さらに努力してください 3月：継続努力のこと
【環境活動計画】 ①廃棄物の排出抑制	1. 廃棄物の排出削減 （データの採取）	設備部門 責任者 所長	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと
②電気使用量の削減	・空調の適正化 ・長時間離席時及び外出時のモニターOFFの徹底 ・帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく ・給湯室の電灯の照明をこまめに点消灯する ・昼間、監視室の窓際照明の消灯	設備部門 責任者 所長	→ → → → → → → → → → → → → → →	◎ ○ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ◎ ◎ ◎	9月：この状態を継続してください 3月：継続努力のこと
③輸送に伴う環境負荷の低減	・アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導	設備部門 責任者 所長	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：今後も指導を継続してください 3月：継続努力のこと
④節水	・フィルター清掃時の水道使用方法の指導等	設備部門 責任者 所長	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：この状態を継続してください 3月：継続努力のこと
⑤省エネ活動＆提案についての指導	・設備現場における省エネ活動、省エネ提案の指導等	総務部長 担当者	→ → →	◎	◎	◎	◎	9月：設備管理の重点項目でもあり、実績を出す努力。 3月：継続努力のこと
⑥内部環境監査	・内部環境監査員による内部監査を受ける	内部環境監査員	→				◎	周知及び教育指導の徹底

注：達成状況　◎　充分できている　○　ほぼできている　△　未だ不十分である　×　できていない

6.　環境経営計画の取組み結果とその評価

6．1【本社ビル：活動項目の達成状況及び担当者コメント】

【環境目標】

1．二酸化炭素排出量の削減　　①電気使用量の削減　②輸送に伴う環境負荷の低減
2．廃棄物排出量の削減　　③廃棄物の排出抑制
3．総排水量の削減　　④節水
4．グリーン購入

	活　動　項　目	計画達成状況（担当者：菊川真希）	達成度
①電気使用量の削減	＜空調の適温化＞ *室内温度を　夏季：26℃　冬季：20℃　にする。 *上記温度を確認のため、室内各所の温度計を設置する。 *適温シールをコントローラー部に貼付	今夏の早い時期からの猛暑で、空調機室内温度を27℃から26℃に変更した。	◎
	＜空調区域の適正化＞ *人が居ない場所の空調OFFの徹底	達成されている	◎
	＜サーキュレーターを3台設置＞ *空気を循環させ、適正温度を保つ	達成されている	◎
	＜照明の適正化、スイッチの適正管理＞ *必要な照度を維持した上で、光源を削減する。 *人が居ない場所の照明OFF *節電シールをスイッチ部に貼付	達成されている	◎
	＜その他電力の適正使用＞ *外出時のパソコン電源OFF *長時間離席時のディスプレイの電源OFF *モニタを液晶に順次切り換えていく *ドメインポリシー設定によるモニタ、HDDの停止	外出時及び長時間離席時のパソコン及びﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ電源OFF：少々不十分な面があるがほぼできている モニターの液晶への切り換え：完了	○
	＜クールビズ・ウォームビズの実施＞	できている	○
②輸送に伴う環境負の低減	＜ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ/適正空気圧等エコ運転配慮の指導＞ *急発進、急加速や空ぶかしの排除 *運転席にエコドライブシール貼付	充分できている	◎
	＜公共交通機関の利用の促進＞ *近距離は自転車或いは徒歩で対応	尚一層の浸透が必要	○
	＜社有車個々の走行記録及び給油量等の記録＞	できている	◎
	＜社有車購入の際、排ガスレベル、燃費、リサイクル素材の使用等の考慮＞	購入時に考慮する	◎
③廃棄物の排出制	＜必要書類以外の印刷禁止＞	ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰで確認等が必要	○
	＜書類は可能な限り両面縮小印刷の実施＞	尚一層の浸透が必要	○
	＜ペーパータオルの廃止＞	コロナ対応のため、ハンドタオルの廃止	△
	＜再生紙の使用＞	完全実施	◎
	＜グリーン商品の購入に努める＞ *包装容器の簡素化、エコマーク製品の購入等	ｸﾞﾘｰﾝ商品があれば優先的に選択	◎
	＜分別回収ボックスの適性配置　ゴミ分別の徹底＞	ほぼ達成されている	◎
④節水	＜漏水の点検＞	実施済み	◎
⑤内部	＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞	R2/03に内部監査を実施した。 更なる充実と是正予防措置報告書の活用が課題であると考える。	○

注：達成状況　◎--充分できている　○--ほぼできている　△--未だ不十分である　×--できていない

6．1-2
【清掃部門:活動項目の達成状況及び担当者コメント

【環境目標】

1．廃棄物排出量の削減　　①廃棄物の排出削減

	活　動　項　目	計画達成状況(担当者:仲野佳和)	達成度
①廃棄物の排出抑制	＜休憩室より廃棄物排出量の削減＞ *必要書類以外の印刷禁止 *ゴミ分別の徹底 ＜空調区域の適正化＞ *人が居ない場所の空調OFFの徹底	問題なく行われています	◎
	＜業務資材系容器廃棄物排出量の削減＞	問題なく行われています	◎
②電気使用量の削減	＜空調の適温化＞	設定温度を確認しています。 従業員に冷房(5月中旬)暖房(11月初旬) に説明している。	◎
	＜人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底＞	人が居ないときの照明offは日常化してます。	◎
	＜長時間離席時及び外出時のパソコンOFFの徹底＞	指導は徹底していますが、たまに忘れが あります。	○
	＜休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底＞	使用しないときはコンセントを外します。	◎
	＜帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく＞	担当者が確認しています。	◎
③輸送環境負荷低減	＜アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導＞	アイドリングストップ等の説明文を作成し、 周知説明及び掲示してます。	◎
	＜自転車や徒歩通勤の勧め＞	現場近くの従業員に自転車/徒歩通勤を 徹底しています。 周知掲示をしています。	◎
④節水	＜水道使用方法の指導＞ *必要以外に水を使用しないことの徹底 *各種洗濯物の使用量の把握 *たらいや洗濯機の使用の推進	たらいでの漬け洗いの実施。 今後も指導を継続していきます。	◎
	＜トイレの水量を減らす＞	今後も水量調整の指導を継続していきます。	◎
⑤内部	＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞	R2/03に内部監査を実施した。 是正予防措置報告書及び現場連絡カード の活用を図り、充実できるように指導して いきます。	◎

注:達成状況　◎--充分できている　○--ほぼできている　△--未だ不十分である　×--できていない

6．1－3
【警備部門:活動項目の達成状況及び担当者コメント

【環境目標】

1．廃棄物排出量の削減　　①廃棄物の排出削減

	活　動　項　目	計画達成状況(担当者:萩原栄二)	達成度
①廃棄物の排出抑制	＜控室より廃棄物排出量の削減＞ *ゴミ分別の徹底 *ペットボトルの使用を控える。水筒持参の推進。 エコキャップ運動の推進 *マイコップの奨励 *マイバッグ(買い物)の利用	達成できている 今後も周知維持の努力が必要 ・不要書類の印刷禁止 ・裏表印刷の実施 ・各自マイコップを持参している	◎
②電気使用量の削減	＜空調の適温化(警備控室)＞	設定温度 夏季28℃　冬季20℃	◎
	＜人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底＞	不在時のOFF及び窓際の照明OFF できている	◎
	＜休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底＞	こまめに電源をOFFしている ポット電源Offに注意する	○
	＜冷蔵庫の温度調整＞	“弱”設定にしている 冷蔵庫内の整理をすすめる	◎
	＜勤務者不在時コンセントを抜いておく＞	使用時以外はOFFしている	◎
③輸送環境負荷低減	＜アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導＞	エコドライブの心得の指導 運転方法についての再注意	◎
	＜自転車や徒歩通勤の勧め＞	現場近くの従業員に自転車/徒歩通勤を 徹底しています。 周知掲示をしています。	○
④節水	＜朝夕の洗顔、歯磨き、手洗い時の節水＞	たらい、マイコップを使用	◎
	＜水道使用方法の指導等＞	できている	◎
⑥内部	＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞	R2/03に内部監査を実施した。 更なる充実が必要と考える 是正措置報告書、現場連絡カードの活用も すすめる	◎

注:達成状況　◎--充分できている　○--ほぼできている　△--未だ不十分である　×--できていない

6．1－4
【設備部門:活動項目の達成状況及び担当者コメント

【環境目標】

1．廃棄物排出量の削減　　①廃棄物の排出削減

	活　動　項　目	計画達成状況(担当者:斉藤武重)	達成度
①廃棄物の排出抑制	＜控室よりの廃棄物排出量の削減＞ *試し刷り時等の裏面再利用 *再生紙の使用 *ゴミ分別の徹底 *マイコップの奨励	ほぼできている	◎
②電気使用量の削減	＜空調の適温化＞	夏季:27℃　冬季:21℃ 十分にできている	◎
	＜長時間離席時及び外出時のモニタOFF＞	ほぼできている。	◎
	＜帰宅時にコンセントを抜いておく＞	できている	◎
	＜給湯室の電灯の照明をこまめに点消灯する＞	個々人の意識を高める努力が必要	○
	＜帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく＞	担当者が確認しています。	◎
	＜昼間、監視室の窓際照明の消灯＞	個々人の意識を高める努力が必要	○
③輸送環境負荷低減	＜アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導＞	ほぼできている 個々人の意識を高める努力が必要	◎
④節水	＜フィルター清掃時の水道使用方法の指導等＞	十分にできている	◎
⑤省エネ	＜設備現場における省エネ活動＆省エネ提案の指導他＞	データ分析も含め省エネに関する提案には 努めているが、一層の研究が必要である。	○
⑥内部	＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞	R2/03に内部監査を実施した。 今後、現場連絡カードの活用等を図って いくことが必要	◎

注:達成状況　◎--充分できている　○--ほぼできている　△--未だ不十分である　×--できていない

7.　環境経営計画の次年度の取組

7．1【本社ビル】

環　境　経　営　目　標	
1．二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減　②輸送に伴う環境負荷の低減
2．廃棄物排出量の削減	③廃棄物の排出抑制
3．総排水量の削減	④節水
4．グリーン購入	

活　動　項　目
①電気使用量の削減
＜空調の適温化＞ *室内温度を　夏季:26℃　冬季:21℃　にする。 *上記温度を確認のため、室内各所の温度計を設置する。 *適温シールをコントローラー部に貼付 ＜空調区域の適正化＞ *人が居ない場所の空調OFFの徹底 ＜照明の適正化、スイッチの適正管理＞ *必要な照度を維持した上で、光源を削減する。 *人が居ない場所の照明OFF *節電シールをスイッチ部に貼付 ＜サーキュレーターを3台設置＞ *空気を循環させ、適正温度を保つ ＜その他電力の適正使用＞ *外出時のパソコン電源OFF *長時間離席時のディスプレイの電源OFF *モニタを液晶に順次切り換えていく *ドメインポリシー設定によるモニタ、HDDの停止 ＜クールビズ・ウォームビズの実施＞
②輸送に伴う環境負の低減
＜ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ/適正空気圧等エコ運転配慮の指導＞ *急発進、急加速や空ぶかしの排除 *運転席にエコドライブシール貼付 ＜公共交通機関の利用の促進＞ *近距離は自転車或いは徒歩で対応 ＜社有車個々の走行記録及び給油量等の記録＞ ＜社有車購入の際、排ガスレベル、燃費、リサイクル素材の使用等の考慮＞
③廃棄物の排出制
＜必要書類以外の印刷禁止＞ ＜書類は可能な限り両面縮小印刷の実施＞ ＜ペーパータオルの廃止＞ ＜再生紙の使用＞ ＜グリーン商品の購入に努める＞ *包装容器の簡素化、エコマーク製品の購入等 ＜分別回収ボックスの適性配置　ゴミ分別の徹底＞
④節水
＜漏水の点検＞
⑤内部監査
＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞

7．1－2
【清掃部門】

環 境 経 営 目 標
1．廃棄物排出量の削減　　①廃棄物の排出削減
活　動　項　目
①廃棄物の排出抑制
＜休憩室より廃棄物排出量の削減＞ *必要書類以外の印刷禁止 *ゴミ分別の徹底 ＜空調区域の適正化＞ *人が居ない場所の空調OFFの徹底 ＜業務資材系容器廃棄物排出量の削減＞
②電気使用量の削減
＜空調の適温化＞ ＜人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底＞ ＜長時間離席時及び外出時のパソコンOFFの徹底＞ ＜休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底＞ ＜帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく＞
③輸送環境負荷低減
＜アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導＞ ＜自転車や徒歩通勤の勧め＞
④節水
＜水道使用方法の指導＞ *必要以外に水を使用しないことの徹底 *各種洗濯物の使用量の把握 *たらいや洗濯機の使用の推進 ＜トイレの水量を減らす＞
⑤内部監査
＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞

7．1－3
【警備部門】

環 境 経 営 目 標
1．廃棄物排出量の削減　　①廃棄物の排出削減
活　動　項　目
①廃棄物の排出抑制
＜控室より廃棄物排出量の削減＞ *ゴミ分別の徹底 *ペットボトルの使用を控える。水筒持参の推進。 エコキャップ運動の推進 *マイコップの奨励 *マイバッグ（買い物）の利用
②電気使用量の削減
＜空調の適温化（警備控室）＞ ＜人が居ない場所の空調OFF照明OFFの徹底＞ ＜休憩時及び食事時以外のテレビ及びポットの電源OFFの徹底＞ ＜冷蔵庫の温度調整＞ ＜勤務者不在時コンセントを抜いておく＞
③輸送環境負荷低減
＜アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導＞ ＜自転車や徒歩通勤の勧め＞
④節水
＜朝夕の洗顔、歯磨き、手洗い時の節水＞ ＜水道使用方法の指導等＞
⑤内部監査
＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞

7．1－4
【設備部門】

環 境 経 営 目 標
1．廃棄物排出量の削減　　①廃棄物の排出削減
活　動　項　目
①廃棄物の排出抑制
＜控室よりの廃棄物排出量の削減＞ *試し刷り時等の裏面再利用 *再生紙の使用 *ゴミ分別の徹底 *マイコップの奨励
②電気使用量の削減
＜空調の適温化＞ ＜長時間離席時及び外出時のモニタOFF＞ ＜帰宅時にコンセントを抜いておく＞ ＜給湯室の電灯の照明をこまめに点消灯する＞ ＜帰宅時及び土日にコンセントを抜いておく＞ ＜昼間、監視室の窓際照明の消灯＞
③輸送環境負荷低減
＜アイドリングストップ等運転方法の配慮についての指導＞
④節水
＜フィルター清掃時の水道使用方法の指導等＞
⑤省エネ
＜設備現場における省エネ活動＆省エネ提案の指導他＞ ＜省エネ塗料の展開＞
⑥内部監査
＜内部環境監査員による内部監査を受ける＞

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8.1

☆当社業務に係る環境関連法規としては、下記が該当する

当社業務関連法規
エネルギーの使用の合理化に関する法律
建築物における衛生的環境の確保に関する法律[建築物環境衛生管理基準]
環境基本法
大気汚染防止法
水質汚濁防止法
瀬戸内海環境保全特別措置法
下水道法
水道法
浄化槽法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
フロン排出抑制法
徳島県生活環境保全条例
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例
家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)
使用済自動車の再資源化等に関する法律
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律
建築基準法
建築士法
消防法
医療法
高圧ガス保安法
建設業法
電気事業法
電気工事士法
電気用品安全法
ガス事業法
労働安全衛生法
労働者派遣法(労働者派遣事業の適正な運用の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律)
マンション管理法(マンション管理の適正化を推進する法律)
個人情報の保護に関する法律
保健所法
興行場法
旅館業法
警備業法

☆法令データ提供システム(http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi)で法令最新版を使用

8．1－2

☆当社登録等における法規及び資格等としては、下記が該当する

法規の項目	登録業務及び資格者等
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物環境衛生総合管理業 統括管理者 清掃作業監督者 空調給排水管理監督者 空気環境測定実施者
	建築物飲料水貯水槽清掃業 貯水槽清掃作業監督者
	建築物ねずみ昆虫等防除業 防除作業監督者
医療法	医療関連サービスマーク認定 病院清掃受託責任者講習
浄化槽法	浄化槽保守点検業務登録 浄化槽管理士
警備業法	施設警備業認定 警備員指導教育責任者
労働者派遣法	一般労働者派遣事業許可 派遣元責任者
マンション管理法	マンション管理業登録 管理業務主任者

※マンション管理法：マンションの管理の適正化の推進に関する法律

※労働者派遣法：労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律

☆当社管理業務における業務実施時必要資格等としては、下記が該当する

法規の項目	資格者名等
電気事業法	電気主任技術者
電気工事士法	電気工事士（第1種）
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物環境衛生管理技術者
消防法	危険物取扱者
	防火管理者
労働安全衛生法	ボイラー取扱作業主任者
	ボイラー技士（1級・2級）
労働安全衛生法 （安全衛生管理体制）	総括安全衛生管理者 安全管理者 衛生管理者

★当社における環境関連法規への違反はありませんでした。

また、過去3年間において関係機関・近隣等からの環境関連法規の違反の指摘等はありませんでした。

代表者
元木

代表者による全体の評価と見直し・指示記録

見直し日	令和4年4月12日　　代表取締役　元木　文昭
見直しの為の情報	■ 環境目標の達成状況 ■ 環境活動計画の実施状況 ■ 環境関連法規等の遵守状況 □ コミュニケーション記録 ■ 環境教育・訓練結果 ■ 内部監査の結果（監査結果のチェックリスト）、是正・予防措置結果 ■ 前回の指示事項 □ その他（　　）

番号	見直し事項	環境管理責任者コメント・提案	変更の必要性	代表者の変更指示内容
①	環境経営方針	環境経営方針の対象者への周知を継続できた。 今後尚一層展開を深めるために、審査時指摘を受けた事項も含めて、経営に役立つ環境活動となるように各項目を見直します。	■ 無 □ 有	審査時指摘を受けた内容も含めて、今後の展開を見据えて見直しを検討すること。
②	環境経営目標	＜本社ビル＞ ・二酸化炭素削減量は、特に注力した項目であるが前年より削減できました。 二酸化炭素排出量は電力が66％、ガソリンが31％を占めておるが、電力は若干減った。 ・2020年度に続いて2021年度も夏場は気温が高かったので空調機の設定温度を27～26℃に変更したが、省エネタイプの空調機に変更したので目標を達成した。 ・ガソリン使用量は、前年度6％UPであった。 ・一般廃棄物排出量は昨年度に続いて目標値より大幅に少なくなっている。（目標排出量の約1/2） 業務量の大きな変化はないが、新聞を再利用した。 ・水道使用量は、目標使用量の60％程度で良好に推移している。	■ 無 □ 有	今後も、環境負荷の削減に向けて、より広くそして深い対応に努めること。 今年のエネルギー事情は尚一層厳しくなることが予想される。 省エネ提案事業についは、きめ細かな提案となるよう研鑽のこと。
③	環境目標	＜清掃部門＞ ・2010年度より、比較の原単位を契約金額ベースに変更している。 ・休憩室よりの排出量は、ほぼ一定しており目標を大きくクリアしている。 ・業務資材系容器の排出量については年度変動は若干数量0.021t増えた。 現在、プラスチックごみが社会問題化しているのでプラスチック容器のリサイクルに注力していく。	■ 無 □ 有	今後も、環境負荷の削減に向けて、より広くそして深い対応に努めること。
④	環境目標	＜警備部門＞ ・2011年度より、警備控室よりの廃棄物排出量データの採取。初年度は、空港警備のみのデータであったが、2012年度より徳島赤十字病院警備のデータも揃えた。 ・空港ビル警備については、一時的に人員が増えた事が原因で総量が2倍に増えたが、目標値はクリア	■ 無 □ 有	今後も、環境負荷の削減に向けて、より広くそして深い対応に努めること。

		した。 ・徳島赤十字病院警備においては、昨年度に比べ大きな変動はない。 ・警備部門の数値は減少しており活動が周知されているものと推察できる。今後も活動を継続していく。		
⑤	環境目標	＜設備部門＞ ・2011年度より、設備控室よりの廃棄物排出量データの採取。今年度も、JSBのデータとなった。 ・廃棄物排出量は、昨年度より大幅に減少しており活動が周知されているものと推察できる。今後も活動を継続していく。 ・省エネ提案には引き続き注力していく。	■ 無 □ 有	今後も、環境負荷の削減に向けて、より広くそして深い対応に努めること。 省エネ提案を重要課題とする。
⑥	環境活動計画及び環境経営システム	＜内部監査＞ ・内部チェックシステムの充実へとつなげていきたい。 ・EA21マネジメントシステムの活用で当社業務における品質/安全活動を推進していきたい。	■ 無 □ 有	展開には工夫を加え、活動の浸透を図ること。 内部監査を通して従業員の環境教育を実施すること。
⑦	実施体制	実施体制を確立する。	■ 無 □ 有	大きな変動がないため継続して実施する。

総合ビル・メンテム株式会社